

キミズ

Pellionia scabra Benth.
イラクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

森林伐採等により減少したと思われ、生育地、個体数ともに少ない。

分 布

本州（中部地方）～琉球に分布。県内では、おおい町、小浜市に見られる。

種の特徴

山地に生える半低木。茎の基部は木質化する。茎は高さ20～40cm。葉は卵状披針形、長さ6～10cm、低鋸歯があり、先は細くなる。花期は3～5月。雄花序は短柄があり、集散状、雌花序は柄がなく、球状。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移、シカ食害。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

サクラバハノキ

Alnus trabeculosa Hand.-Mazz.
カバノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

現在県内で知られている生育地は数箇所、個体数も少ない。湿地の開発により生育地が減少した。

分 布

本州（中部地方以西）、九州に分布。県内では勝山市、あわら市で見られる。

種の特徴

湿地に生える落葉小高木。高さ10～15m。葉は互生し、卵状楕円形、長さ7～11cm、表面は光沢がある。花期は2～3月。展葉前に開花し、雄花序は枝先に、雌花序はその下側につく。果実は卵状楕円形、長さ約2cm。

生育を脅かす要因

湿地開発、土地造成、道路工事。

参考文献 茂木透他（2000a）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○		○		

ネコシデ

Betula corylifolia Regel et Maxim.
カバノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

個体数が少ない。採集標本は3点のみ。

分 布

本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越に見られる。

種の特徴

亜高山帯に生える落葉高木。高さ3～15m。葉は互生、短枝に1対つく。葉は卵状長楕円形、長さ4～8cm、粗い重鋸歯がある。花期は5月。展葉と同時に開花し、雌花序は短枝につき、雄花序は枝先から垂れ下がる。果穂は上を向き、長さ3～5cm。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献 茂木透他（2000a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	